

大磯町の統一的な基準による財務書類（令和4年度 一般会計等）概要

① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）		負債の部（将来世代が負担する金額）	
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	170億3,145万円	1 固 定 負 債 (1) 地方債 73億2,016万円
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	224億1,223万円	(2) 退職手当引当金 21億1,817万円
	(3) 物品、ソフトウェアなど	1億6,106万円	(3) その他の固定負債 4億868万円
	(4) 投資その他の資産	42億29万円	2 流 動 負 債 (1) 1年以内償還予定地方債 7億2,749万円
			(2) その他の流動負債 2億2,859万円
			負債合計 108億309万円
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	8億1,521万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）
	(2) 基金、未収金など	13億3,996万円	純資産合計 351億5,711万円
資産合計		459億6,020万円	負債及び純資産合計 459億6,020万円

④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）	8億2,369万円
本年度資金収支額	△3,280万円
1 業務活動収支 税金、国県等補助金、人件費など	10億8,505万円
2 投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△5億8,017万円
3 財務活動収支 地方債等発行、償還など	△5億3,768万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	2,432万円
本年度末現金預金残高	8億1,521万円

③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	341億5,011万円
本年度変動高	10億700万円
△純行政コスト	△94億2,815万円
財源 (町税、地方交付税、 国県等補助金)	102億2,046万円
資産形成への充当	△1,121万円
その他	2億2,590万円
本年度末純資産残高	351億5,711万円

令和4年度大磯町の資産と負債の状況

① 住民1人当たりの資産と負債残高 (令和5年1月1日現在人口 32,265 人)

資産 = 142万円 負債 = 33万円

② 純資産比率（今までの世代の負担済み）… **76.5%**

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③ 有形固定資産減価償却率（資産の老朽割合）… **62.7%**

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和4年度末現在：償却資産取得価額等： 235億2,533万円 減価償却累計額： 147億5,149万円

④ 負債比率（資産合計に対する負債の割合）… **23.5%**

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

令和4年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支 **10億8,505万円** ⇒ 堅調な財政運営
 ② 投資活動収支 **△5億8,017万円** (基金積立、資産形成)
 ③ 財務活動収支 **△5億3,768万円** (公共施設整備の財源調達)
 ①～③の合計である令和4年度の資金収支は **△3,280万円**

本年度末純資産残高は **351億5,711万円**
 本年度末現金預金残高は **8億1,521万円**

② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	101億8,383万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	23億8,512万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	29億4,921万円
その他の業務費用 支払利息など	3億441万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	45億4,509万円
経常収益	7億6,045万円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	94億2,338万円
臨時損失 災害復旧費など	630万円
臨時利益 資産売却益など	153万円
純行政コスト (純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益)	94億2,815万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和4年度の財政運営について（総括）

令和3年度と比較すると、資産は約5億79百万円の増加、負債は約4億28百万円の減少、純資産は約10億7百万円の増加となっています。結果として、将来世代の資源となる純資産が増加したことから、令和4年度は、将来世代が使用できる資源を積み上げられたこととなります。

コスト面では、純行政コストが前年より0.7%の減となりました。移転費用における補助金等が、令和3年度に実施した子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の終了などにより、前年より1億96百万円減少した一方、近年の物価高騰などの影響により物件費等が2億6百万円増加しています。今後も物価高騰などによる影響は続くと思われるため、より一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ
 大磯町 政策総務部 財政課
 〒255-8555
 神奈川県中郡大磯町東小磯183
 電話：0463-61-4100
 FAX：0463-61-1991

大磯町の統一的な基準による財務書類（令和4年度 全体会計）概要

① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）		負債の部（将来世代が負担する金額）		
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	170億3,145万円	1 (1) 地方債 166億5,067万円	
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	416億7,129万円	(2) 退職手当引当金 21億3,217万円	
	(3) 物品、ソフトウェアなど	13億99万円	(3) その他の固定負債 89億8,122万円	
	(4) 投資その他の資産	50億1,524万円	2 (1) 1年以内償還予定地方債 12億5,570万円	
			(2) その他の流動負債 9億3,207万円	
			負債合計 299億5,183万円	
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	18億8,432万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）	
	(2) 基金、未収金など	16億3,875万円	純資産合計	385億9,021万円
資産合計		685億4,204万円	負債及び純資産合計	685億4,204万円

④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）	15億9,255万円
本年度資金収支額	2億6,745万円
1 業務活動収支 税収、国県等補助金、人件費など	14億4,175万円
2 投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△10億5,067万円
3 財務活動収支 地方債等発行、償還など	△1億2,363万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	2,432万円
本年度末現金預金残高	18億8,432万円

③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	372億8,111万円
本年度変動高	13億910万円
△純行政コスト	△154億8,888万円
財源 (町税、地方交付税、 国県等補助金)	163億3,601万円
資産形成への充当	△1,121万円
その他	4億7,318万円
本年度末純資産残高	385億9,021万円

令和4年度大磯町の資産と負債の状況

① 住民1人当たりの資産と負債残高

(令和5年1月1日現在人口 32,265人)

資産 = 212万円 負債 = 93万円

② 純資産比率（今までの世代の負担済み）・・・

56.3%

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③ 有形固定資産償却率（資産の老朽割合）・・・

36.8%

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和4年度末現在：償却資産取得価額等： 443億4,185万円 減価償却累計額： 163億1,553万円

④ 負債比率（資産合計に対する負債の割合）・・・

43.7%

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

令和4年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支

14億4,175万円 ⇒ 堅調な財政運営

② 投資活動収支

△10億5,067万円（基金積立、資産形成）

③ 財務活動収支

△1億2,363万円（公共施設整備の財源調達）

①～③の合計である令和4年度の資金収支は

2億6,745万円

本年度末純資産残高は

385億9,021万円

本年度末現金預金残高は

18億8,432万円

② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	167億5,823万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	24億8,917万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	37億2,745万円
その他の業務費用 支払利息など	5億6,514万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	99億7,647万円
経常収益	12億7,412万円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	154億8,411万円
臨時損失 災害復旧費など	630万円
臨時利益 資産売却益など	153万円
純行政コスト (純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益)	154億8,888万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和4年度の財政運営について（総括）

令和3年度と比較すると、資産は約14億47百万円の増加、負債は約1億38百万円の増加、純資産は約13億9百万円の増加となっています。これらの増減については、下水道事業のインフラ資産等の増加が主な要因と考えられます。

コスト面では、純行政コストが前年より0.8%の減となりましたが、これは一般会計等と同様に、移転費用における補助金等が、令和3年度に実施した子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の終了などにより、前年より3億18百万円減少した一方、近年の物価高騰などの影響により物件費等が2億25百万円増加したことが原因です。今後も物価高騰などによる影響は続くと思われるため、より一層コストの縮減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ
大磯町 政策総務部 財政課
〒255-8555
神奈川県中郡大磯町東小磯183
電話：0463-61-4100
FAX：0463-61-1991

大磯町の統一的な基準による財務書類（令和4年度 連結会計）概要

① 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は会計年度末時点において町の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を表示しています。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）		負債の部（将来世代が負担する金額）	
1 固 定 資 産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育館、 町営住宅、地区集会所など	170億3,145万円	1 固 定 負 債 (1) 地方債 173億3,903万円
	(2) インフラ資産 道路、公園、橋梁、上下水道など	416億7,129万円	(2) 退職手当引当金 21億3,414万円
	(3) 物品、ソフトウェアなど	13億262万円	(3) その他の固定負債 89億8,200万円
	(4) 投資その他の資産	51億307万円	2 流 動 負 債 (1) 1年以内償還予定地方債 12億5,570万円
			(2) その他の流動負債 9億3,311万円
			負債合計 306億4,398万円
2 流 動 資 産	(1) 現金預金	19億4,691万円	純資産の部（現在までの世代が負担した金額）
	(2) 基金、未収金など	23億4,872万円	純資産合計 387億6,008万円
資産合計		694億406万円	負債及び純資産合計 694億406万円

④ 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分して表示することで、町がどのような活動に資金を必要としているかを表示しています。

前年度末資金残高（繰越金）	17億860万円
本年度資金収支額	2億2,055万円
1 業務活動収支 税金、国県等補助金、人件費など	13億9,398万円
2 投資活動収支 公共施設等整備費支出、国県等補助金など	△10億4,888万円
3 財務活動収支 地方債等発行、償還など	△1億2,455万円
比例連結割合変更に伴う差額	△657万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	2,433万円
本年度末現金預金残高	19億4,691万円

③ 純資産変動計算書

町の純資産（資産から負債を引いた残り）が年度内にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

前年度末純資産残高	375億1,260万円
本年度変動高	12億4,748万円
△純行政コスト	△202億9,598万円
財源 (町税、地方交付税、 国県等補助金)	210億9,446万円
資産形成への充当	△1,121万円
比例連結割合変更に伴う差額	△1,297万円
その他	4億7,318万円
本年度末純資産残高	387億6,008万円

令和4年度大磯町の資産と負債の状況

① 住民1人当たりの資産と負債残高 (令和5年1月1日現在人口 32,265人)

資産 = 215万円 負債 = 95万円

② 純資産比率（今までの世代の負担済み）… 55.8%

社会資本に対する、現在までの世代がすでに負担している割合（社会資本形成の世代間比率）【純資産／総資産】

③ 有形固定資産償却率（資産の老朽割合）… 36.8%

償却資産の耐用年数に対して、取得からどの程度経過しているか把握する割合【減価償却累計額／取得価額】

※ 令和4年度末現在：償却資産取得価額等： 443億4,185万円 減価償却累計額： 163億1,553万円

④ 負債比率（資産合計に対する負債の割合）… 44.2%

この比率が低いほど財政状況が健全であることを示します。

令和4年度大磯町の資金収支の状況

① 業務活動収支 13億9,398万円 ⇒ 堅調な財政運営

② 投資活動収支 △10億4,888万円 (基金積立、資産形成)

③ 財務活動収支 △1億2,455万円 (将来世代の負担の軽減)

①～③の合計である令和4年度の資金収支は 2億2,055万円

本年度末純資産残高は 387億6,008万円

本年度末現金預金残高は 19億4,691万円

② 行政コスト計算書

町の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	215億7,018万円
人件費 人件費、退職手当引当金繰入など	24億9,179万円
物件費等 物件費、減価償却費、維持補修費など	38億5,300万円
その他の業務費用 支払利息など	6億3,589万円
移転費用 補助金等、社会保障給付、他会計繰出金など	145億8,950万円
経常収益	12億7,897万円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	202億9,121万円
臨時損失 災害復旧費など	630万円
臨時利益 資産売却益など	153万円
純行政コスト (純経常行政コスト+臨時損失－臨時利益)	202億9,598万円

● 「統一的な基準」に基づく財務書類の公表について

大磯町では、町民の皆さんに町の財政状況をよりよく理解していただくため、平成28年度決算から国が示す「統一的な基準」に基づいた地方公会計財務書類4表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成し公表しています。

● 令和4年度の財政運営について（総括）

令和3年度と比較すると、資産は約13億85百万円の増加、負債は約1億38百万円の増加、純資産は約12億47百万円の増加となっています。これらの大幅な増減については、全体会計同様、下水道事業のインフラ資産等の増加が主な要因と考えられます。

コスト面では、純行政コストが前年より1.0%の減となりましたが、これは一般会計等及び全体会計と同様に、移転費用における補助金等が、令和3年度に実施した子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の終了などにより、前年より3億52百万円減少した一方、近年の物価高騰などの影響により物件費等が2億34百万円増加したことが原因です。今後も物価高騰などによる影響は続くと思われるため、より一層コストの削減を意識し、健全な財政運営に努めます。

問い合わせ
大磯町 政策総務部 財政課
〒255-8555
神奈川県中郡大磯町東小磯183
電話：0463-61-4100
FAX：0463-61-1991

※表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。